



START 吉備真備駅

- 01 まびふれあい公園
- 02 小田川沿い
- 03 まび復興ドッグラン
- 04 真備公民館 川辺分館
- 05 源福寺
- 06 讃岐うどん かわはら
- 07 横溝正史疎開宅
- 08 真備ふるさと歴史館
- 09 パンポルト
- 10 土師邸
- 11 サツキプロジェクト
避難機能付き共同住宅
- 12 まきび公園・たけのこ茶屋

GOAL 吉備真備駅

LOVE! 倉敷サイクリング

WEBからもおすすめ！
情報をチェックしよう！



倉敷市 洪水・土砂 ハザードマップまとめ

倉敷市洪水・土砂ハ
ザードマップはこちら。
真備町の災害リスクを
確認しよう！



レンタサイクル 金田一自転車

レトロな自転車に乗って、金田一耕
助ゆかりの地や魅力のある観光ス
ポットを巡ってみませんか？



探してみよう！浸水深ポイント

探してみよう！石碑ポイント

探してみよう！神楽土手ポイント

カフェ 飲食

サイクルスタンド (各店舗利用時間以外の駐輪はご遠慮ください。)

平成30年7月豪雨決壊箇所



真備地区はサイクリングにピッタリ！
サイクルスタンドぞくぞく増えています！

※工事等により、コースの一部が通行できない場合があります
※この地図に掲載している情報は、令和7年3月時点のものです
掲載したい情報がありましたら isouchi.chikako@kagawa-u.ac.jp までご連絡ください

作成：香川大学 磯打研究室 4年生 山本 航志 協力：倉敷市防災危機管理室 デザイン協力：DROPS 板谷 智美
令和6年度河川基金助成事業採択課題「水害BCPタイムラインによる気候変動に適應した地域社会形成」にて作成



真備 BO-Cycling Map

まちあるきをしてみよう！

START

GOAL

吉備真備駅

12

まきび公園・たけのこ茶屋

真備公ゆかりの公園。柳や梅が植えられた中国風庭園のほか、真備公の資料館も。
敷地内のたけのこ茶屋ではドリンクがテイクアウトでき、竹細工・竹製品の販売もしている。



11

サツキプロジェクト
避難機能付き共同住宅

被災したアパートを改修し、2階のベランダまでスロープを設置するなど、災害時に安全に避難できる構造を持つ住宅。地域住民が支え合い、災害時には都度助け合えるコミュニティを目指している。



10

土師邸

被災した民家が改修され、地域の人たちの交流や福祉の拠点として再生した。豪雨後に亡くなった家主の男性の意志を継ぎ、NPO法人「ぶどうの家わたぼうし」が「土師邸」と名付けて運営。



09

パンポルト

原材料から製法まで、パンの種類やその日の気温・湿度によって一つひとつ工程を微妙に調整。店の前には冷凍パンの自動販売機が設置され、ピザやスイーツ系のパンが購入できる。



08

真備ふるさと歴史館

江戸時代の真備地区にあった岡田藩に関する歴史資料を紹介。真備地区ゆかりの推理作家・横溝正史直筆の原稿などを展示するコーナーも。



07

横溝正史疎開宅

横溝正史が約3年半、疎開生活を送った家を当時のまま保存。「本陣殺人事件」などの金田一耕助作品が誕生し、周辺には作品にまつわる場所が点在している。



走るほどに学びが深まる！
防災&真備の魅力発見ライド！



02

小田川沿い

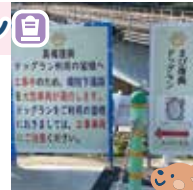
真備地区は真備公ゆかりの地。情緒豊かな風景が広がる小田川沿いは自然に親しめるスポット。



03

まび復興ドッグラン

小田川河川敷にあるドッグラン。ここを運営する真備ドッグランサポーターズは、平成30年7月豪雨災害翌年に発足。



04

真備公民館 川辺分館

平成30年7月豪雨災害による犠牲者への追悼の意を込めた石碑や、当時の浸水深を表したものがある。また、洪水対策として川辺を囲っていた、かぐら土手の跡も見られる。



05

源福寺

延徳2年(1490年)に創建された歴史ある寺院。近くを流れる高梁川は度々洪水で大きな被害を出しており「明治26年大洪水供養塔」が昭和4年に建立されている。また、洪水対策として川辺を囲っていた、かぐら土手の跡も見られる。



06

讃岐うどん かわはら

西日本豪雨で被災後、3か月後に再オープン。「地元真備に根ざしたうどん店」がコンセプト。いかの天ぷらが入ったぶっかけうどんは人気。

